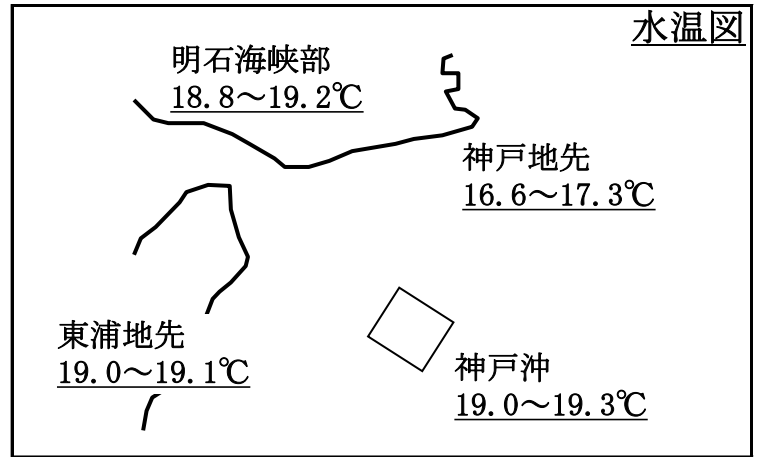


# 兵庫県のにり漁場環境情報 (神戸市、東浦海域 1号)

海域全般に、大型珪藻のコシノディスカスが多く確認されています。窒素は、神戸地先東部で10  $\mu\text{g-at/L}$ 以上、西部で概ね3~4  $\mu\text{g-at/L}$ 台、神戸沖で3  $\mu\text{g-at/L}$ 台、東浦地先で2~3  $\mu\text{g-at/L}$ 台の値となっています。

(水温) 神戸地先：西部で18.8~19.2 $^{\circ}\text{C}$ 、東部で16.6~17.3 $^{\circ}\text{C}$ で平均17.7 $^{\circ}\text{C}$ 。神戸沖：平均19.1 $^{\circ}\text{C}$ 。東浦地先：平均19.1 $^{\circ}\text{C}$ 。  
 (塩分) 神戸地先：西部で31.89~32.35psu、東部で30.16~30.77psu。神戸沖：32.30~32.45psu。東浦地先：32.32~32.40psu。  
 (珪藻、栄養塩) 海域全般に、コシノディスカスが多く確認された。各海域のコシノディスカス発生量は海水1Lあたり、神戸地先西部と東浦地先で500~800細胞、神戸沖で500~600細胞であった。神戸地先の東部では、湾奥の海水(低水温・低塩分)の影響が見られ、珪藻類はほぼ確認されない。  
 窒素は、神戸地先東部で10  $\mu\text{g-at/L}$ 以上、陸水等の影響により特異的に高い地点を除き西部で3~4  $\mu\text{g-at/L}$ 台、神戸沖で3  $\mu\text{g-at/L}$ 台、東浦地先で2~3  $\mu\text{g-at/L}$ 台の値であった。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
神戸地先	水温		17.7	18.7	18.8
	窒素		11.8	8.2	6.3
	リン		0.84	0.56	0.38
神戸沖	水温		19.1	19.3	19.6
	窒素		3.4	5.1	4.2
	リン		0.57	0.54	0.48
東浦地先	水温		19.1	19.1	19.9
	窒素		2.8	5.2	5.0
	リン		0.54	0.53	0.57



(11/21)

## 栄養塩 (窒素) 図

2023年11月22日調査

下げ潮~干潮 (明石海峡：東流)

調査時間； 8:06~10:09

